

日本工学院専門学校	開講年度	2020年度(令和2年度)	科目名	スポーツ実習3	
科目基礎情報					
開設学科	ITスペシャリスト科	コース名	システム専攻	開設期	後期
対象年次	3年次	科目区分	選択	時間数	30時間
単位数	1単位	開講時間		授業形態	実習
教科書/教材	レジュメ・資料を配布する。				
担当教員情報					
担当教員	中西真也・兒玉奉恵	実務経験の有無・職種	無		
学習目的					
<p>基本情報技術者試験はIPAが主催する国家資格の一つであり、高度IT人材となるために必要な基本的知識・技能をもち、実践的な活用能力を身に付けたことを証明する資格である。本資格はIT業界で開発者として働いていくために最低限必要とされている資格であり、遅くとも入社後3年目までには取得を推奨していることが多い。</p> <p>本講座では基本情報技術者試験の午前試験(150分)と午後試験(150分)が合格できるように対策を行っていく。</p>					
到達目標					
<p>この科目では、習得した滑走技術を駆使し、あらゆる雪質や斜面を安全に滑走できるようになる事を目標とする。初心者には、両スキーが平行に回転する感覚を身につけ、最終的には初歩的なパラレルターンができるようになる事を目標とする。初級者は、今後の上達に弊害を及ぼすクセを修正し、中斜面でもパラレルターンができるようになる事を目標とする。中・上級者は、一定のスピードで自分の回転弧を自由に調節し、あらゆる斜面でパラレルターンの大回り和小回りができるようになる事を目標とする。また、集団生活により学年・クラスを超えた人間関係を構築する。</p>					
教育方法等					
授業概要	<p>冬季スポーツの特性を活かし、全身の筋肉をしなやかに、弾力的に使いながら、巧緻性や集中力を高める。一方で、授業で習得したそれぞれの滑走技術を駆使しながら、あらゆる雪質・斜面を安全に克服し、スキー・スノーボードの楽しさ、奥深さを実感し、自然・人・体験など多くの出会いを通して、心の豊かさ、生きるための創造力を涵養する。</p>				
注意点	<p>各自、自己のスキルにあったスキー・スノーボードスクールのコースを事前に選択すること。コース選択時に決して無理のないコースを選択するようにし、各コースのインストラクターの指示の元、安全な滑走に努めること。自由滑走時には、必ず数名のグループで行動し、決して単独行動をすることがないようにする。ただし、授業時数の4分の3以上出席しない者は単位として認定することができない。</p>				
評価方法	種別	割合	備考		
	試験・課題	0%			
	小テスト	0%			
	レポート	40%	授業内容の理解度を確認するために実施する		
	成果発表 (口頭・実技)	40%	授業時間内に行われる発表方法、内容について評価する		
	平常点	20%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する		
授業計画(1回～15回) 1回(2)時間 ※45分を1時間とする					
回	授業内容	各回の到達目標			
1回	事前説明・オリエンテーション	全行程の大まかな理解と個々の目標を理解する			
2回	スキー・スノーボードスクール(1)	各自のスキルに合った到達目標技術の習得をする			
3回	スキー・スノーボードスクール(2)	各自のスキルに合った到達目標技術の習得をする			
4回	自由滑走(1)	スクール時に習った技術を確認し理解する			
5回	自由滑走(2)	スクール時に習った技術を確認し理解する			
6回	オリエンテーション(1)	他者との意見交換をし、技術習得ができていないかの確認をする			
7回	自由滑走(3)	スクール時に習った技術を確認し理解する			
8回	自由滑走(4)	スクール時に習った技術を確認し理解する			
9回	自由滑走(5)	スクール時に習った技術を確認し理解する			
10回	自由滑走(6)	スクール時に習った技術を確認し理解する			
11回	オリエンテーション(2)	他者との意見交換をし、技術習得ができていないかの確認をする			
12回	自由滑走(7)	スクール時に習った技術を確認し理解する			
13回	自由滑走(8)	スクール時に習った技術を確認し理解する			
14回	レポート作成	レポートを作成し、理解できたか習得できたかの確認をする			
15回	成果発表	各自この科目にて得た成果などについて発表をする			